

(プレスリリース)



2023年2月22日  
学校法人九州国際大学

報道機関各位

## 学校法人九州国際大学 新理事長 決定について

**概要** 学校法人九州国際大学は、前理事長柴田高博の後任として、令和5年2月22日開催の理事会において、権堂健司（ごんどう けんじ）を新理事長に選任いたしましたのでお知らせいたします。

新理事長の選任については、新たに理事長選考規程等を制定し、「人格が高潔で、かつ、本法人の建学の理念である『塾的精神』に基づき、本法人の経営及び教育・研究を適切かつ効果的に運営することができる能力を有するとともに、中期経営計画の実現に向けてリーダーシップを十分に発揮できる者」を理事長選考会議において厳正に審査し、理事会において決定いたしました。

### ① 新理事長のプロフィール

氏名：権堂 健司（ごんどう けんじ）  
生年月日：昭和27年7月21日 満70歳  
略歴：昭和50年3月 八幡大学（現九州国際大学）  
法経学部第一部法律学科卒業  
昭和50年4月 学校法人八幡大学（現学校法人九州国際大学）入職  
平成5年4月 大学事務部学生課長  
平成14年12月 附属高等学校女子部事務室長  
平成19年4月 附属高等学校事務部長  
平成20年4月 法人事務局次長  
平成22年3月 法人事務局長  
平成28年6月 学校法人九州国際大学常務理事  
令和4年6月 学校法人九州国際大学理事長職務代理者  
社会活動：平成16年4月 福岡県私立学校事務長会副会長  
平成18年4月 福岡県私立学校事務長会会長

### ② 新理事長の任期

新理事長の任期は、2023年2月22日から2025年6月4日の間

### ③ 業績評価及び最終候補者の選考結果報告

別紙をご参照ください。

#### **【本件に関する問合せ先】**

学校法人九州国際大学（担当：篠原基之、内田孝一）  
北九州市八幡東区平野2丁目5番1号  
電話 093-671-8900 F A X 093-671-9032

## 業績評価 及び 最終候補者の選考結果報告

### 1. 理事長候補者の業績評価・選考にあたって

理事長候補者として推薦のあった権堂氏の業績評価・選考については、理事長選考規程、理事長選考会議規程、理事長業績評価規程に基づき、「人格が高潔で、かつ、本法人の建学の理念である『塾的精神』に基づき、本法人の経営及び教育・研究を適切かつ効果的に運営することができる能力を有するとともに、中期経営計画の実現に向けてリーダーシップを十分に発揮できる者」を念頭に、権堂氏の履歴書並びに推薦理由書、所信表明などの提出書類と業績評価委員会による業績評価結果の報告等も踏まえ、厳正に評価・選考した。

### 2. 業績評価について

権堂氏と学校法人九州国際大学（以下「本法人」という。）との関係を振り返ると、八幡大学入学から、事務職員及び理事の期間を通算すると 52 年という半世紀を超える歴史がある。本法人と共に歩んだ実績の中で特筆すべきものとして、福岡県私立学校事務長会会長時に、高等学校等就学支援金制度の導入に際して、福岡県内の私立学校を取りまとめ、学校設置者に対して就学支援金が支給される制度を確立するなど、現在の就学支援金制度の拡充の面において、保護者や学校関係者の諸手続きの統一化に大きく貢献したことが挙げられる。

また、近隣の私立高等学校が台頭する時期に、本法人が設置する付属高等学校の志願者減少と入学者の定員割れを解消すべく、男女共学化へ向けた学則変更の取り組みにおいては、その中心人物として貢献した実績がある。

さらに、本法人の経営面に関しては、2代にわたり理事長が体調不良を理由に第一線を離れた際には、常務理事として理事長代理を務め、本法人全体の情報収集並びに調整を行ってきた実績は高く評価できる。

現在は、理事長職務代理者として理事長不在時における理事会の運営、ならびに第3期中期経営計画の目標達成に向けて誠実に取り組んでいる。

教育分野においては、現在の現代ビジネス学部国際社会学科の起源である国際商学部を国際関係学部へと改組転換する際には、文部科学省対応の中心人物として貢献した。

本法人が設置する各学校の今後の定員確保の点において、少子化という大きな課題があるものの、北九州地域で最初に付属中学校や付属高等学校における ICT 教育を導入するなど、本法人の教育改革推進に大きく貢献した。

また、学生・生徒の教育環境の充実は将来に向けて重要な視点であり、大学、付属高等学

校及び附属中学校との定期的な対話の機会を設け、教育と経営の融合を目指した改革の基盤を構築するなど、着実な成果を上げている。

さらに、教育改革のみならず学生・生徒の確保の観点から新たな入試形態の導入を支援するなど、広報や募集、入試制度改革に関する助言は、附属高等学校が福岡県内で最も多くの志願者数を確保している実績からも高く評価できる。

研究分野においては、文部科学省が推奨する地域との連携や私立大学等改革総合支援事業の採択を目指し、挑戦的・融合的な研究・地域連携人材を支援するとともに、その環境整備を目指した学長のリーダーシップを支えていることは高く評価できる。

また、八幡21世紀の会（現八幡夢みらい協議会）に理事長代理として出席し、地域の活性化や地域企業との連携強化に努めた実績が、現在では大学卒業後の就職先としても大きく効果が出ている。

社会貢献分野について、SDGsへの対応の推進、コロナ後を見据えた国際交流への対応、教育・地域振興に関する活動などにより、北九州市に続き福岡県においてもSDGs登録事業者として認定され、本法人のプレゼンスを側面的に高める活動を支援した。

また、本法人の維持発展を目指し、教職員が地域との連携活動を実践することを推奨するとともに、職員の表彰制度を導入するなど、学内の活性化や産官学連携の場面で活躍する教職員の活動を推奨している点は、今後の少子化や地域の活性化とも大きく関係しており、社会貢献のみならず教育的側面や研究的側面から効果が期待できる点からも評価できる。

最後に、理事長業績評価委員会が実施した同氏へのヒアリングでは、「2030年に向けて本法人の経営環境の一層の向上を目指し、地域企業との連携強化や学内における各種のプロジェクトの設置を推奨することで、本法人が設置する附属中学校、附属高等学校及び大学がこれまで以上に地域との信頼関係を深めていけるように尽力したい。」という、将来に向けた力強い思いを確認できたとの報告も上がっており、同氏の理事長就任が、円滑な学園運営の継続と法人経営の持続的発展に繋がるものと確信している。

### 3. 選考結果

以上のことを総合的に踏まえ、本会議は、同氏が新理事長として相応しい人物であると判断し、最終候補者として選考したことを報告する。

令和5年2月13日

学校法人九州国際大学  
理事長選考会議